



ビジネスを元気に する展示の力

切った。同展以外にも「デジタルヘルスDAY'S」や「計測展」にも出展するなど、展示会を積極的に活用している。

長寿の市として有名な京丹後市や、認知症研究を積極的に進めている久山町のデータと連携し、データの拡充や比較が図られている。

「岩木健康増進プロジェクト」は同地区住民を対象に健康状態の現状とその問題を調査し、健康指導など住民の健康増進活動を実施

展示のほかにも12月15日には、特設ステージで村下公一氏が「2千項目健康ビッグデータが健康の未来を変える！」というテーマで

ビッグデータ活用で

社会に健康を

弘前大学COI研究推進機構は、ビッグデータを活用した認知症や生活習慣病などの予兆発見や、予防法の研究開発、および研究を行っている。

今回「SEMICON

弘前大学COI研究推進機構

ON JAPAN 2017」に出展し、「岩木健康増進プロジェクト」などの研究を紹介。政策と民間サービスの連携による健康の事業化を目指し、参画企業を探

施。最も平均寿命の短い県として知られる青森に住む人々の健康状態を改善するため、平成17年に立ち上げられた。

講演を行った。今後は受診後すぐに診断結果と対策を知ることができるシステム作りによって、受診者の行動を変える健康診断の標準化や、小中学校に向けた健康プログラムの

〈展示会データ〉

展示会名：SEMICON Japan

会 期：12月13日～15日

会 場：東京ビッグサイト



普及などに向け、幅広く活動していく構えだ。